

地域のイベントにおける若者への啓発活動 ～ティーンズクラブ・アイリス・伊勢の試み～

市立伊勢総合病院 院外ボランティア
ティーンズクラブ・アイリス・伊勢 (思春期保健相談士)

中村 真弓



展示ブースの様子

地域のイベントに参加

八月三十一日、地域の若者が地域の若者の活性化のために、毎年テーマを決めて開催している「音しゃい祭り」に、私

ティーンズクラブ・アイリス・伊勢は、市立伊勢総合病院の婦人科医と助産師、看護師が中心となり、思春期のための保健活動を行うことを目的とし、結成された院外ボランティア団体である。地域の思春期の子どもたちのメール相談、生命の誕生から思春期の発達過程に関する地域での出前講座などを中心に活動しており、月に一度養護教諭の先生方と一緒に学習会を開き、教育現場との交流を深めている。

八月三十一日、地域の若者が地域の若者の活性化のために、毎年テーマを決めて開催している「音しゃい祭り」に、私も参加させてもらった。今年も、感謝の言葉を決めて開催している「音しゃい祭り」に、私も参加させてもらった。今年も、感謝の言葉を決めて開催している「音しゃい祭り」に、私も参加させてもらった。

展示物やパンフを手作り

展示は四つのブースに分けた。《Babies》のブースでは、受精卵からお母さんのお腹の様子を写真で展示し、胎内の赤ちゃんの重さをペットボトルなど身近なもので展示した。最初はとても小さい胎児が次第に人間らしくなっていく、出産時は三千グラム程にまで成長することに改めて驚いている方が多かった。母子のつながりや人間の驚くほどの生命力を体験してもらえることができた。

の大切さを知り、生まれきたことに感謝し、そして自分のからだ、自身を大切にしよう！と、テーマを「FOR MY HAPPY LIFE」とした。当日、一人でもいいから興味を持ってくれる人がいたらいいね、ときさやかな希望を持っていたのだが、予想を超える百人以上の方々が来場してくれた。

《Boys & Girls》では、男女の体の絵を展示し、それぞれの違いを示した。包茎や初経についてなどにも触れ、日ごろ疑問に思っているがなかなか人には聞けないことをパンフレットに作成し配布した。お互いの違いを理解すること、お互いを大切にすること、お互いを感じてもらえることができた。

《Ladies & Gentlemen》では、STD・STIについての展示を行った。若者が気軽に立ち寄れるようにするために、あえて「性感染症」という堂々とした表示は控え、STDとの表示にした。YES、NOの質問をたどっていくと、その人のSTD・STI危険度が分かり、パンフレットを開くとSTD・STIについての正しい知識、予防法が理解できるようにした。



ティーンズクラブ・アイリス・伊勢のメンバー

今後は男性も利用しやすく

《Women》のコーナーでは、すべての年齢層の女性にがん検診の必要性を訴えた。若者の子宮頸がんや乳がんの増加を示し、若者にも検診を促した。すべての展示物やパンフレットは、私たちの思いを感じてもらえるように手作りにつづけた。

今回のイベントを通じたのでないかという印象をうけた。男女問わず、今後の課題としていきたい。しかし年齢の近いメンバーがこういった活動を行うことが良い意味で、男性にも接しやすいくれたのではないかと感じる。自分たちの年代での活動の意義を感じ嬉しなっている。